

平成33年度（2021年度）入試以降の大学入学者選抜における基本方針について

首都大学東京では、平成33年度（2021年度）入試（平成32年度（2020年度）実施）以降の大学入学者選抜において、志願者の「学力の3要素（※）」をより多面的・総合的に評価するため、以下のとおり『大学入学者選抜における基本方針』を策定しました。

なお、平成33年度（2021年度）入試の詳細な入試区分や選抜方法、科目等については、平成30年度（2018年度）に予告公表いたします。

全体

【1】学力の3要素の評価

全ての入試区分において、学力の3要素（※）を評価します。

（※）学力の3要素

- ①「知識・技能」
- ②「思考力・判断力・表現力」
- ③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

【2】調査書の活用

全ての入試区分において、高大接続、学力の3要素評価の観点から調査書を合格者の判定に活用します。

一般選抜における大学入学共通テストの活用方法

【3】大学入学共通テストにおける記述式問題の活用

大学入学共通テストを一般選抜における合格者の判定に活用し、択一式問題に加え記述式問題も評価の対象とします。

【4】英語の外部検定試験（大学入試センターによる認定試験）の活用

英語の4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を適切に評価するために、一般選抜において英語の外部検定試験（認定試験）を活用するとともに、大学入学共通テストの英語試験（択一式問題（リスニングを含む。））も併用します。

個別学力検査

【5】個別学力検査における記述式問題の出題

一般選抜（前期日程・後期日程）における個別学力検査では、「知識・技能」に加え「思考力・判断力・表現力」を評価する記述式の問題を出題します。

<問合せ先>

公立大学法人首都大学東京

首都大学東京アドミッション・センター（入試課）

電話 042-677-2391